

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。



沖縄協同病院・病院広報委員会

豊見城市字真玉橋 593 番地の 1

TEL.(098)850-7951

http://oki-kyo.jp

E-mail:okikyo02@crocus.ocn.ne.jp

発行責任者 西銘圭蔵

新病院建設の進捗状況③⑤

(新病院建設工程について)



上棟式の様子

新病院工事の状況は、低層階(3階まで)は外壁にタイルが貼られ、病棟階は6階まで白く塗装され、だいぶ病院らしくなってきました。

きました。

躯体工事はコンクリート打設が12月初旬に完了となり、12月10日(水)16:00より現場作業員の労をねぎらう為の上棟式を行いました。

上棟式と言えば沖縄では山羊汁が定番ですが、苦手な方も多い事から牛汁200食、山羊汁50食を準備しました。山羊汁を少なく見積もった所が誤算で、配膳が始まるや否や大人気であったと言間に完食となりました。

上棟式の中で「残すところこの現場も4ヶ月となり～」と現場所長(西松建設)より挨拶を頂き、2008年2月に始まった工事も最終段階にきたことを実感しました。

新沖縄協同病院は今年6月に開院します。残された期間を有意義に活用して準備万端で開院を迎えられるよう準備を進めて行きますのでご協力をお願いします。

新病院開設準備会 事務局 新垣 司

2009年 陽春の輝きをうけて

- 南洋桜が満開となる初春の喜びを皆様とともに寿ぎたいと思います。
- さて、敷地購入から6年、希望が形になり、夢が現実になる新病院が6月から鼓動し始めます。沖縄医療生活協同組合の歴史では、33年前、現在地の沖縄協同病院建設に次ぐ大事業になります。
- 小泉内閣に始まる新自由主義の推進は、人間同士の繋がりや思いやりを捨てざる「自己責任原理」を蔓延させました。国家を国民のために使う立場から、国家を大企業や多国籍企業のために改造する試みは、国家が「健康で文化的な最低限の生活を保障する」という憲法25条に真っ向から反するものです。
- しかし、貧困な沖縄の医療事情から、自らの命を守るために立ち上がった沖縄県民には団結する伝統があります。団結によって、嘆くこと無く、逆境を乗り越える力を蓄積してきました。この機会に、沖縄医療生活協同組合をさらに発展させようではありませんか。

沖縄協同病院 院長 西銘圭蔵

インフルエンザと鳥インフルエンザと新型インフルエンザ

37

内科



今厚生労働省のホームページで盛んに「一般市民向けにアナウンスしているインフルエンザ対策をご存じでしょうか?」年配の方は「存じませんか?」が大半ですが、一八二八年に世界中で大流行したスペインかぜは世界中で四〇〇〇万人、日本で約三十九万人の関連死亡者を出してしまいました。その後一九五七年のアジアかぜ、一九六八年の香港かぜがやはり二〇〇万から一〇〇万の死亡者を出し、これらの新型インフルエンザが、四十年〜十年の周期で大流行するものから、厚労省はその対策に頑張っているのです。新型インフルエンザが発生するのは避けられず、いかに被害を最小限のものにするかというところで奮闘中なのです。本来は鳥インフルエンザは鳥同士でしか感染していきません。しかしながら高濃度でウイルスに接触すると鳥インフルエンザが人にうつることがあります。そのため体調が悪そうな鳥に近づいてはいけませんし、死んだ鳥との接触も控えたほうが良いです。簡単にいいますと鳥インフルエンザが簡単に人から人へ感染するようになったインフルエンザが新型



- インフルエンザです。一般的な対策としては①睡眠と栄養を十分にとる。②手をよく洗い、うがいをする。③人ごみの中にはなるべく行かない。④インフルエンザワクチン接種を行う。⑤そして「咳エチケット」を励行することなどです。
- 「咳エチケット」とは厚生労働省のホームページで公開されていますが
1. 咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
 2. 鼻汁・痰などを含んだティッシュをすぐにフタ付きのごみ箱に捨てる。
 3. 咳をしている人にマスクの着用を促す。
- のことなどをいいます。
- 平成二十年(2008年) 今冬のインフルエンザ総合対策について「とやほりホームページ」にあり、
- 今年度の標語は「あ、その咳、そのくしゃみ、咳エチケットしてますか?」です。皆さんも周りの方に教えあつて感染が広がるのを防ぎましょう。
- 内科 佐久田豊

院長の頭の中 その30

～2009年、激変の予感～

- 爬龍橋を渡る機会が増えてきた。橋から漫湖をみはるかす。あたかも大河の如くである。
 - その漫湖を眼下に南の日差しを浴びる新沖縄協同病院。療養する人々には、自然浴の効果があるだろう。
 - さて、2009年、総選挙がおそからずやってくる。定額給付金一人1万2000円(総額2兆円)、600万円の住宅ローン減税など国民の血税を勝手に大判振る舞いしている。
返す口上で、消費税のアップを三年後に開始するという。消費税1%アップで2兆5000億円である。朝三暮四が通用するほど、国民の苦しみは浅いものではない。
 - 常に日米両政府を揺り動かしてきた沖縄県民の力、今年はそのうねりがさらに両政府を動かすだろう。
- ※朝三暮四：猿にトチの実を朝に三つ、暮れに四つやると言うとき怒ったため、朝に四つ、暮れに三つやると言うとき喜んだという故事。

院長 西銘 圭蔵



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

ご意見・ご要望

薬をもらいに来たのですが、薬だけもらうときは、その専用の受付があってもいいと思います。人がいっぱいいて忙しいのはわかりますが、一分位診察してすぐ薬をあげますと言われたら、何のために2時間待ったのかわかりません。人の体でするので調べないと薬は出せないかもしれませんが検討お願いします。

12月9日(火)午前 内科外来

ご返事

いつもの薬だけが欲しいのに長時間待たされることに対するご不満だと思います。実際、かなり以前はこのような事を配慮して、薬だけの患者様は順番を繰り上げて対応していたこともありましたが、現在は医師法上、診察をしないで薬を処方することは固く禁じられています。そのため「薬だけ」といわれる患者様も診察を受けていただいています。その時に、医師が患者様の状態の変化に何か気づくこともあります。薬だけの専門受付を設けることは、今のところ法律上困難です。診察が混んでいたりして長くお待たせして申し訳ありませんが、ご理解いただきたいと思います。

事務次長 比嘉義信

★ワンサイズダウンをめざす方と平常心を得たい方へ ダイエットウォーク&気功



★ダイエットウォークを取り入れたストレッチとウォークです。

【1月の日程】

7日、14日、28日(水)

問い合わせ
総務課 金城(内線310)

場所: リハビリ室
時間: 18:30~20:00

※途中参加、退出できますので、お気軽にご参加ください。

かりゆし会

(糖尿病患者会)

一足先にお正月気分 試食会

12/6(土)、沖縄協同病院の糖尿病患者会、かりゆし会の試食会がありました。毎年この時期恒例のお正月料理で、いつもより豪華な料理を皆さん楽しみにされています。

油をあまり使わないように煮たり、蒸したりするメニューが多く、また、たっぷりの野菜を使うのもヘルシーバランス食の特徴です。低カロリーー甘味料を使った煮豆や有頭エビの煮物など、お正月らしい華やかさができるよう工夫されていました。

おいしい料理と一緒に参加者どうしの話もはずみ新年会のような楽しいひと時でした。

かりゆし会ではこのような試食会を年に3回行っています。糖尿病で通院されている患者様やご家族の皆様、ぜひ一緒に活動してみませんか? 入会方法など、くわしくは担当者へお問い合わせください。

メニュー

- ・かやくご飯
- ・たたきごぼう
- ・いなもとうち汁
- ・白いんげん甘煮
- ・エビのつや煮
- ほか
- ・魚の薬味かけ
- ・鶏肉のミヌダル風
- ・かぶのゆず味噌かけ
- ・筑前煮



内科外来 玉城淳子

がじまる会

(透析患者会)

透析室合同忘年会



今年は総勢63名の参加で、12月14日(日)、サザンプラザ海邦にて行われました。がじまる会会長の開会の挨拶に続き、永年透析者の表彰があり、透析10年、20年及び30年の患者さんの表彰がありました。

透析室長の中村医師の挨拶と乾杯の後、第二部が始まると、スタッフの余興や患者さんの飛び入り余興などが次々と繰り広げられました。

特に「鍵、矢、手、麩」を身にまとった踊りから観客の笑いが止まらず、すばらしいプロポーションによる妖艶なハワイアンダンス、最新パブリックレクシオンのファッションショー、アホの坂田踊り等が披露され、喝采がなりやまず腹を抱えて笑っぱなしの楽しい忘年会でした。また、お楽しみ抽選会やジャンケンゲームで景品や現金までいただけるというオマケ付きで、当たった方は年末ジャンボ宝くじも当たるかもしれません。

最後に西銘院長、大城師長の閉会の挨拶があり、カチャーシーで締め終りました。

がじまる会会長 金城康文



総務課 金城稲子

さて、先日、金武町伊芸で被弾事件があった。沖縄には石敢當、シーサー、サン、スイジガイ等、魔物除けはいっぱいあるが、銃弾までは除けられない。プッシュ大統領は同時期記者会見で、飛んでくる靴を除けたが、毎日どこから飛んでくるかわからない(除けようのない)銃弾にさらされている県民の不安はわかるまい。

スイジガイはシーサーが中国から入ってくる以前の庶民の魔除けだったという。昭和初期までは、ミンデー(ものもらい)に罹るとスイジガイに紐をつけ、フール(豚便所)に吊るし、後ろを振り向かず、無言のままそとに戻ると治ると言われていたようだ。

名の由来は形が水の字に似ていることからきている。そのため、昔から火難除け、水難除け、疫病を追い払う悪風返しとして家の玄関や家畜小屋に吊るす風習があった。現在でも田舎にいくと見かけることがある。名護市と宮古島市の市の貝でもある。

地域の文化遺産 10

一時期、貝のコレクションに凝っていた。多様な形、多彩なデザインに魅せられ、自分で潜って収集した。スイジガイはコレクションの中ではポピュラーな貝なので、友人の新築祝いには火難除けとして持っていくことにしている。